

# 加速する予算可決

## 最も被害が大きい西部地区に復興予算つく

### H30年 第1回 定例会

主たる歳出には被害の大きかった集落の道路や緑地、広場の整備等の復興予算が含まれている。

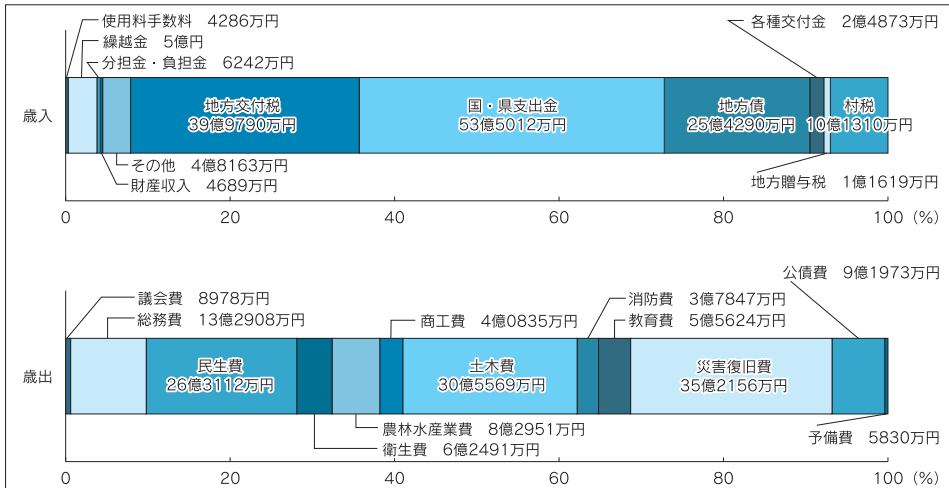
小規模住宅地区改良事業費 13億6339万円、災害公営住宅関連事業費4100万円、南阿蘇鉄道災害復旧事業補助3億2500万円、都市防災推進事業費（高野台防災公園整備）2億135万円。教育費では放課後英数教室事業398万円等。

条例で企画観光課を政策企画課、産業観光課に分け、次世代定住課を新設、総務課と人権対策課を統合し、人権政策係が総務課内に設置された。

3月定例会は3月8日から16日までの9日間の日程で開催され、平成30年度一般会計当初予算、平成29年度補正予算等（予算16・条例19・人事1・その他7）と議員発議など計44件を原案通り可決。人事で教育委員会委員に後藤隆興氏を再任、指定管理者で阿蘇白水郷美術館（松藤企画）、長陽憩いの家（木之内農園）に決定。29年度補正予算、30年度当初予算について、3常任委員会に付託され審議可決された。審議経過と結果について最終日、各委員長より報告があった。

一般質問には7名が登壇し、行政の諸問題について質問した。

平成30年度当初予算歳入歳出内訳



防災公園が予定されている高野台



追悼式での献花のようす（4月15日）

### 小規模住宅地区改良事業（5カ年計画）

平成30年度

袴野道路	3億6460万8千円	黒川	9277万2千円
乙ヶ瀬	7948万8千円	立野地区	2億9086万7千円
沢津野		メルヘン村	2500万円
長野	4億3502万4千円	地獄垂玉道路	1500万円